

共用プール建屋廃液移送系配管の材質について

2019年10月9日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 実施計画に記載している材料について

1

実施計画に記載の共用プール建屋廃液移送系 主要配管のうち、
「運用補助共用施設機器ドレン廃液移送ポンプ出口配管分岐点から
運用補助共用施設高電導度ドレンサンプポンプ(B), (D)出口配管」において、
最新の材質名(STPT370)ではなく、過去の材質名(STPT38)を記載している件について

- ◆ 実施計画における主要配管仕様は原則、工事計画認可申請書（以下、工認）を確認し、引用している。
- ◆ 当該区間については工認に明確な記載がなかったため、今回の申請にあたり新たに区間設定を行った。
- ◆ 当該区間の配管材質については、工認上の「固体廃棄物処理設備の主配管」と同材料を使用していることから、工認上の記載「STPT38」を引用した。
- ◆ 今回の工事で配管を取り替えるのは当該区間の一部であり、残りは建設当初のままであるため、「STPT38」と「STPT370」が混在することになる。
→ 混乱防止のため記載を統一

2. STPT38の読み替えについて

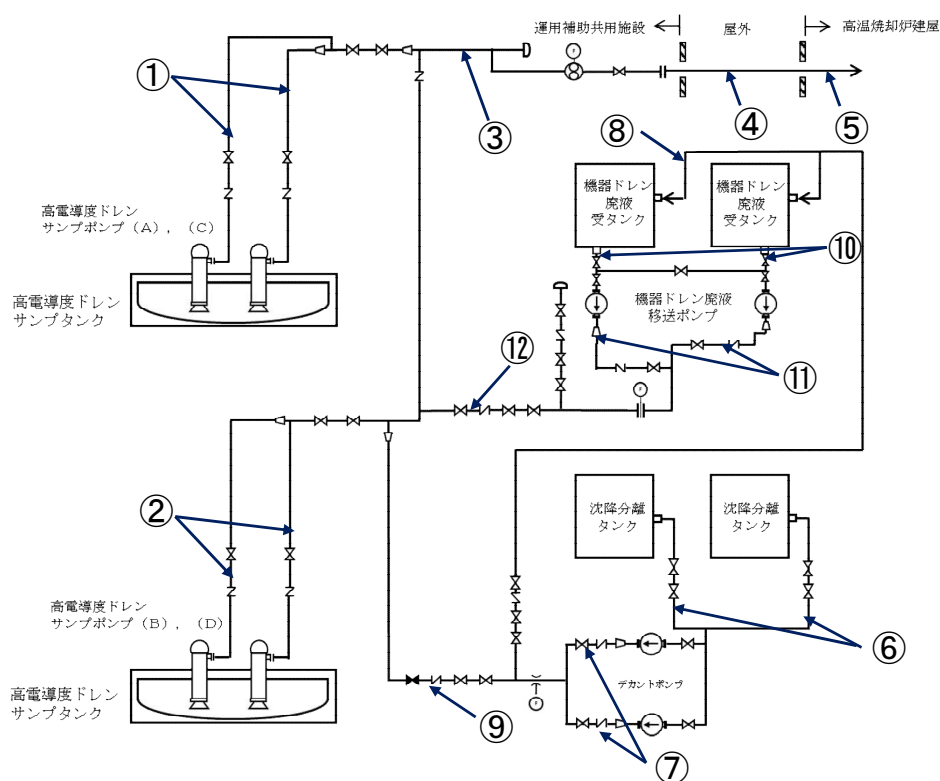
社内確認においては、
引用しているJIS材料（STPT38）は最新のJIS材料（STPT370）に読み替えて行う

- ◆ 工認において、告示501号に記載された材料のJIS規格と左記と読み替えて良い材料としてSTPT38【JIS G 3456（1978）】とSTPT370【JIS G 3456（1988）】が記載されている。
- ◆ よって、STPT38とSTPT370は同等の材料であると解釈可能。
→ 今回はすべてSTPT370に読み替えて行う。

※なお、今回の配管取替はJSME S NC1 発電用原子力設備規格 設計・建設規格（以下、JSME規格）に準拠して行っており、JSME規格に記載されているJIS規格はJIS G3456(2004) → JIS G3456(2016)に読み替えている。

系統概略図

3



配管名称

	名 称	工認記載有無
①	運用補助共用施設高電導度ドレンサンプポンプ(A), (C)から運用補助共用施設高電導度ドレンサンプポンプ出口配管合流部下流まで	有
②	運用補助共用施設高電導度ドレンサンプポンプ(B), (D)から運用補助共用施設高電導度ドレンサンプポンプ(A), (C)出口配管まで	有
③	運用補助共用施設高電導度ドレンサンプポンプ出口配管合流部下流から高温焼却炉建屋地下滞留水貯留エリアまで (鋼管)	無
④	(ポリエチレン管)	無
⑤	(耐圧ホース)	無
⑥	運用補助共用施設沈降分離タンクから運用補助共用施設デカントポンプまで	有
⑦	運用補助共用施設デカントポンプから運用補助共用施設機器ドレン廃液受タンク集合管まで	有
⑧	運用補助共用施設機器ドレン廃液受タンク集合管	有
⑨	運用補助共用施設建屋デカントポンプ出口配管分岐点から運用補助共用施設高電導度ドレンサンプポンプ(B), (D)出口配管まで	無
⑩	運用補助共用施設機器ドレン廃液受タンクから運用補助共用施設機器ドレン廃液移送ポンプまで	有
⑪	運用補助共用施設機器ドレン廃液移送ポンプから運用補助共用施設機器ドレン廃液移送ポンプ出口配管分岐点まで	有
⑫	運用補助共用施設機器ドレン廃液移送ポンプ出口配管分岐点から運用補助共用施設高電導度ドレンサンプポンプ(B), (D)出口配管まで	無